

住まい

私記

福岡県粕屋町の築50年以上の古民家。安河内明美さん(44)は、夫の雄一さん(44)と相談して古民家の良さを残し改築。4月に完成したばかり。ダイニングと居間も合わせたキッチン、靴のまま入れる29畳の「土間」になった。

結婚して兼業農家の主人の実家に入った1988年当時、キッチンには塩化ビニール製の床でした。建てた当初は土間だったようです。

5年くらい前から建て替えか改築を考えるようになりまし

こだわり水回り⑨



▼システムキッチンの内側から見た土間。キッチン、リビング、ダイニングが一体となり、靴のまま入ることができる＝写真上。玄関を開けると29畳の土間が広がる＝写真下



た。昨年、古民家を再生したモデルハウスに行って改築に決めました。古民家は落ち着きますし、お金では買えない家の歴史

がありますから、残したいね、と主人と話しました。そのときに見たモデルハウスのキッチンが土間で、同じよう

古民家生かした土間キッチン

にしたいと即決しました。我が家は農家。近所も農家が多く、行き来があります。いらっしやるとき、遠慮して庭での立ち話が多かったのですが、靴のまま入る土間なら気楽に入ってもらえると思いました。

開放的にしたかったので、ダイニングとの間にあった壁を取り払い、キッチンとダイニング、居間をひとつにしました。29畳あります。

床は土だと湿気がこもりますが、タイルにすれば湿気の心配もないし断熱材も入れられます。建築家の提案で、イタリヤ製だけれど和風なタイルを敷き詰めました。天井板は取り払って梁を出しました。傷んでなくて使えました。薪ストーブも設置。冬が楽しみです。

玄関から引き戸を開けると土間で、そのまま靴を入ります。

靴を脱ぐのは畳の部屋にあがるどころです。

泥や砂で床が汚れるのではないかと心配しましたが、玄関に敷いたマットでだいぶ落ちるので、実際は気になりませんでした。土間専用の掃除機で掃除をしますが、毎日する必要はないです。

6月は田植えで農作業が忙しい時期でした。田んぼ用の足袋をはきますが、ちよっと家に戻って台所仕事をするときなどは、庭の水道で泥を落とし、足袋のままキッチンに入りました。楽でした。

来客が増えました。「何で土間にしたの?」とよく聞かれましたが、来訪後は「いいね」と言ってもらえます。主人の友だちや職場の人にもよく来られます。料理もとても楽しくて品数も増えました。(聞き手・神田明美)